

令和5年度第6回徳島地方最低賃金審議会
第2回特定最低賃金合同専門部会議事要旨

1 開催日時、場所

日時 令和5年12月21日（木）午後3時～4時05分

場所 あわぎんホール5階小ホール

2 出席者

○本審

（公益代表委員） 段野委員 端村委員 撫養委員 米澤委員
（労働者代表委員） 賀川委員 川口委員 辰巳委員 三木委員 山本委員
（使用者代表委員） 藍原委員 天野委員 五島委員 中村委員 脇田委員

○造作材等専門部会

（公益代表委員） 段野委員 撫養委員 米澤委員
（労働者代表委員） 辰巳委員 三木委員 山本委員
（使用者代表委員） 脇田委員

○一般機械器具等専門部会

（公益代表委員） 端村委員 撫養委員 米澤委員
（労働者代表委員） 川口委員 辻 委員 坊野委員
（使用者代表委員） 天野委員 井出委員 森 委員

○電気機械器具等専門部会

（公益代表委員） 段野委員 端村委員
（労働者代表委員） 賀川委員 木戸委員
（使用者代表委員） 五島委員

3 議事要旨

（1）事務局より令和5年度徳島地方最低賃金審議会の審議経過等について説明を行った。今年度の審議の総括として、公労使委員から次のとおり意見があった。

①労側委員

- ・ 十分に審議を尽くした結果であった。
- ・ 当県の最低賃金は全国的、国際的にみても低い。次年度は公労使一致して引上げを図りたい。
- ・ 全会一致で決定したことは良かったが、一方では発効日を遅らせ、他県の動向を見てから大幅引上げを決めた県もあった。このような決定方法の是正、対策が必要ではないかと感じた。
- ・ 今年度の最低賃金の報道にはマイナスのイメージを感じた。最低賃金だけでなく県全体が悪いイメージを持たれる。前向きな発信を期待する。

②使側委員

- ・ 決定後に様々な意見があったが、公労使が一致して最低賃金を引き上げたことには意味がある。
- ・ 今までになく最低賃金が注目された。労使のイニシアティブにより決定したことには意義がある。今後も物価上昇や価格転嫁について注視していきたい。
- ・ （一般機械の特定最低賃金について）決定後、小規模事業者から「これでは事業の継続が厳しい」との声があり、改めて小規模事業者の意見に耳を傾けながら審議する必要性を感じた。
- ・ 政府の助成金が拡充されたというが、細かい部分の指摘が多く、審査が厳しすぎると感じる。小規模事業者はそこまで対応できない。申請手続きのハードルを下げしてほしい。
- ・ 事業場にもよるだろうが、最低賃金で募集しても応募はなく、より高い金額で人を集めなければならない。経営者はこの金額で利益を出すことを考えなければならない。次年度は企業の利益や業績、経済情勢、物価の影響を見ながら議論を進めたい。

③公益委員

- ・ 企業にとって最低賃金の決定は重いものであると感じている。年末に閉店、倒産する企業もあると聞く。最低賃金を決めるという重責を担っていることを十分認識して、次年度の職務を遂行したい。
- ・ 労使双方の歩み寄る姿勢こそが徳島の強みであり、地域経済の活性化において大きな意義を持つものと感じている。来年度も徳島の将来に希望を見いだせる結論を採択できるようにしたい。

(2) 事務局より次年度の審議日程予定について説明を行った。今年度は付帯決議を議論する時間が十分にとれなかったことを踏まえ、次年度の取りまとめ時期等について議論された。

(3) 事務局より賃金引上げに向けた中小企業・小規模事業者への支援策等について説明を行った。